

**M I N A T O ビジョン・タウンフォーラム
福祉・保健グループ**

会議録（第1回）

■開催日時・場所・出席者

日 時：令和7年8月19日（火）18時30分～20時30分

会 場：港区役所9階 914会議室

メンバ：11名（欠席者2名）

【内訳】対面参加9名、オンライン参加2名

事務局：企画課グループ担当2名、サポートメンバー2名、委託事業者3名（うちファシリテーター1名、記録者1名、グラフィックレコーダー1名）

■次第

（開会）

- 1 事務局挨拶
- 2 タウンフォーラムの進め方について
- 3 検討内容のまとめ方について
- 4 検討テーマに関する議論
 - ・守りたい港区の伝統、伝えたい港区の歴史
 - ・港区の誇るべき特徴・長所
 - ・将来の港区の姿
- 5 事務局より連絡

（閉会）

■配付資料

- 資料1 第1回グループ会議進行資料
- 資料2 タウンフォーラムの進め方
- 資料3 検討内容のまとめ方
- 資料4 M I N A T O ビジョンの策定に向けた「みんなの声」
- 資料5 オンラインツールの活用について
- 資料6 第2回グループ会議検討内容

■貸与資料

なし

■会議要旨

(開会)

1 事務局挨拶

事務局より、事務局職員の紹介が行われた。

2 タウンフォーラムの進め方について

事務局より、資料2を基に、第1回から第3回のグループ会議及び報告会の概要について説明が行われた。

3 検討内容のまとめ方について

事務局より、資料3を基に、第1回及び第2回グループ会議の検討経過がグラフィックレコードとなることや、報告会に向けて、港区全体の将来像を1つ、分野別の将来像をグループごとに7つのたき台としてまとめていくことについて説明が行われた。

また、資料4を基に、MINATOビジョンの策定に向けて実施した全区民アンケートや区民等意識調査などの結果の概要について説明が行われた。

4 検討テーマに関する議論

ファシリテーターより、資料1を基に、ワークショップの趣旨や進め方について説明が行われた。ラウンドごとに意見を付箋に書き出して発表しながら、模造紙上で意見を分類してまとめた。

(1) 第1ラウンド 守りたい港区の伝統、伝えたい港区の歴史

(主な意見等)

参加者：徳川家関連の歴史建造物、戦時中の歴史を残しつつ、都市再開発を続けてほしい。

参加者：寺社、江戸の石垣、水路の活用、住民が中心となって活躍するお祭りを残したい。

参加者：歴史と現在が融合した景色を書いた。

参加者：大名屋敷跡やその他歴史建造物・跡を残したい。

参加者：増上寺の盆踊り、下町の商店街、戦争学習（特に若者を対象とした教育）。

参加者：「寺町」としてお寺を守っていきたい、また東京タワーができた歴史を伝えていきたい。三田などの歴史的な地名を残してほしい。

参加者：町名がすでに消えている地区もあるため、「守る」ではなく歴史的な地名を復活してほしい。

参加者：大使館とのつながりを守っていきたい。

参加者：レインボーブリッジの景色・水辺を守ってほしい。

参加者：公園の緑、大使館・豊かな国際色を守っていきたい。

参加者：見えている部分だけでなく、情報の取り入れ・教育制度、ヤングケアラーなどに関する先進的な情報発信などのソフト面で港区が進んでいると考えているため、今後も続けてほしい。

事務局：出された意見をグループ全体で整理した。その結果、国際、水辺、江戸、下町、緑、歴史学習、マインド、建造物に大きく分類された。

参加者：枚数から見ると、江戸、下町の意見が多い。

参加者：その中で特に「歴史を物語る文化財」が重要だと思う。

参加者：下町では、「まつり」が一番重要だと思う。その中の全てが含まれるため。

(2) 第2ラウンド 港区の誇るべき特徴・長所

(主な意見等)

参加者：国際色が豊かなところ、育児制度の充実、妊婦さんにやさしいところ。

参加者：税収が多い、テレビ局・マスコミが多い。

参加者：学校が多い、港湾がある、交通の便がいい。

参加者：ほしいものが手に入りやすい。

参加者：グルメが楽しめる、病院が多い。

参加者：ITなどの先端企業が多い、わくわくするまち、観光資源が多くある。

参加者：いきいきプラザなどの医療施設が多い。

参加者：現代と歴史・伝統が共存している。

参加者：「日本と言えば」という観光資源が多く、また美しいまちである点。

参加者：教育が強い。

参加者：治安が良い。

参加者：文化の中心となっている。美術館や劇場がある。

参加者：再開発が盛ん。

参加者：富裕層の多さ、土地価格。

(3) 第3ラウンド 将来の港区の姿

参加者：緑が多い、誰もが暮らしやすい、古いものと新しいものが共存している。

参加者：国際色のあるまち、文化を発信するまち。

参加者：地価が高いまち、財政が豊かになっている、商店街が残っている、最新医療の介護が受けられるまち。

参加者：ハイレベルの安全の交通、国際力がもっとスムーズにできるまち。

参加者：治安がいい、教育が充実している、公共施設が充実している。

参加者：近所との交流のあるまち、工事が完了しているまち。

参加者：子どもが多いまち、誰も取り残されない教育、安全なまち、リニア新幹線が進んでいるまち。

参加者：公共インフラが整備されている、人間の精神性を大事にするまち（一人ひとり輝けるまち）。

参加者：資源・ノウハウ・実績を活用し日本全国の市町村・地方との地域連携を推進するまち。

参加者：海辺を活用している。

参加者：第1ラウンド：「下町」では、近所との交流が一番重要だと思う。

参加者：緑では、自然豊かが一番重要だと思う。

参加者：江戸では、「歴史を大切にするまち」が一番重要だと思う。

参加者：建造物では、暮らしの中で歴史を感じられるまち、都市開発と歴史資産の保全が両立しているまちの両方が重要だと思う。

参加者：第2ラウンド：文化では、「文化の中心となっている」が一番重要だと思う。

参加者：ずっと治安が良いまち、教育が充実しているまちも重要なと思う。

参加者：交通では、交通安全が一番重要だと思う。

参加者：子育てでは、子どもが増えているが一番重要だと思う。

参加者：国際では、国際色豊かなまちが一番重要だと思う。

参加者：豊かでは、「財政が豊かになっているまち」が一番重要だと思う。

参加者：地域連携の中心も重要なと思う。

5 事務局より連絡

事務局より、資料5を基に、会議終了後の意見交換の手段として、オンラインツールの活用についての案内があった。また、資料6を基に、第2回グループ会議の検討内容について説明が行われ、次回会議の日程が確認された。

(閉会)

以上